



▲アジア大会女子フルーレ個人でも銀メダルを獲得した

◀全日本選手権女子フルーレで優勝した上野優佳選手(左)

フェンシング全日本フルーレ 2度目V 上野優佳選手(法4)

パリへ視界良好

アジア大会の競泳メドレーリレーで金メダル 池本凧沙選手(法3)



▲アジア大会競泳女子400メートルメドレーリレーで金メダルを獲得した(左から)池本凧沙、相馬あい、青木玲緒樹、高橋美紀の各選手



アジア大会 競泳女子400メートルメドレーリレー決勝で、最終泳者として力泳する池本凧沙選手▶

来年夏のパリ・オリンピックに向け、中央大学の2選手がこの夏、国内外の大会で好成績を収め、一層の躍進へ弾みをつけた。

フェンシング部の上野優佳選手(法4)は全日本選手権(9月18日、静岡県沼津市)の女子フルーレで2年ぶり2度目の優勝を飾った。決勝は、今年7月の世界選手権女子フルーレ団体で銅メダルを獲得した日本代表でチームメイトだった宮脇雅倫選手(三菱電機)との対戦だった。上野選手は9月のアジア大会(中国・杭州)でも女子フルーレ個人で銀メダル、団体に銅メダルを獲得した。

水泳部の池本凧沙選手(自由形、法3)は、9月のアジア大会で、女子4×100メートルメドレーリレーの金メダル獲得に貢献し、混合4×100メートルメドレーリレーと女子4×100メートルフリーリレーでも銀メダルを獲得した。7月に福岡で開催された世界水泳では、リレー2種目で入賞した。

(写真は全て共同通信社提供)